

# 耐候性鋼橋腐食 3D計測・評価システム

## 3D計測・評価システム概要

- 近接目視の定量化と客観的な腐食評点判定が可能
- 計測・評価対象
  - 1) 耐候性鋼橋腐食の計測と評価
  - 2) 鋼橋塗膜膨れ具合の計測と解析
  - 3) その他、表面平滑度計測と評価
- 3D計測と評点判定を一体化し、現場で判定可能
  - 1) 腐食領域の3D計測を実施
  - 2) 3Dデータの解析
    - a) ヒストグラム生成 (0.1mm単位)
    - b) 標準偏差値算出
    - c) 標準偏差値から評点付与

## 3DSL-Rhino-BAT セット構成

- セット標準構成
  - ① 3D計測装置 (3DSL-Rhino-01ないし3DSL-Rhino-02)
  - ② 3Dコントローラ(①駆動用高性能PC)
  - ③ ①用取り付けジグ
  - ④ バッテリーパック(12V, 100Whr)
  - ⑤ バックパック
- 3Dコントローラ搭載ソフトウェア
  - ① 3D計測用ソフトウェア SEIKOWAVE Portfolio
  - ② 腐食評価ソフトウェア SEIKOWAVE BAT
- 3DSL-Rhino-01の個別仕様
  - 測定画角@450mm = 150mm x 270mm
  - 測定対物距離 = 350mm~470mm
  - 分解能 (公称) と深さ繰り返し精度
    - XY: 400 $\mu$ m、Z:50 $\mu$ m以下
    - Z:  $\pm$ 50 $\mu$ m以下 (1 $\sigma$ )
- 3DSL-Rhino-02の個別仕様
  - 測定画角@200mm = 80mm x 140mm
  - 測定対物距離 = 160mm~250mm
  - 分解能 (公称) と深さ繰り返し精度
    - XY: 200 $\mu$ m、Z:30 $\mu$ m以下
    - Z:  $\pm$ 30 $\mu$ m以下 (1 $\sigma$ )

